

## 他のお薬やサプリメントとの 飲み合わせにも注意を

他のお薬やサプリメントの中には、抗血小板薬の効果を弱めたり、逆に、作用を強めて出血などの副作用が出やすくなるものもあります。他に、どのようなお薬やサプリメントを飲んでいるか、医師または薬剤師にお知らせください。お薬やサプリメントの名称や種類がわからない場合は、そのお薬やサプリメントを薬局にお持ちください。



このお薬について疑問や不安がある場合には、医師または薬剤師にご相談ください。

連絡先：

Meファルマ株式会社

ACG000301©  
Me (AI)  
作成：2026.3

健康にアイデアを  
**meiji**

## クロピドグレル錠「SANIK」 を服用される方へ

クロピドグレル錠「SANIK」を  
正しく服用していただくために



監修

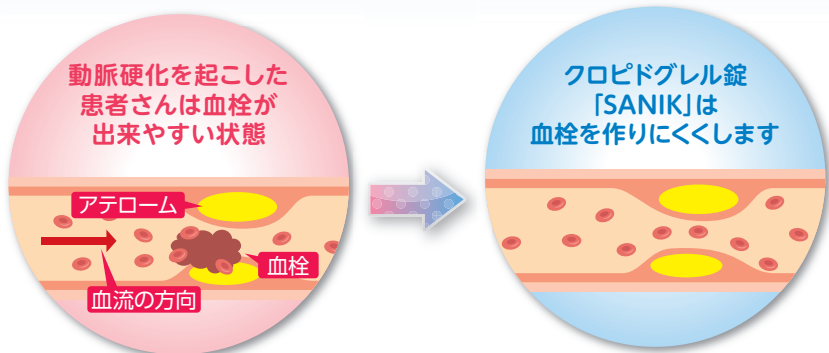
東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科  
教授・基幹分野長 市原 淳弘 先生

# クロピドグレル錠「SANIK」は 血を固まりにくくして、血管が詰まるのを抑えるお薬です

動脈硬化によってできたアテロームにより、脳や心臓、足の血管内に血栓（血のかたまり）が出来ると、血管をつまらせて脳梗塞や心筋梗塞、PAD（末梢動脈疾患）\*などを引き起こします。とくに、脳梗塞を一度起こしたり、心筋梗塞でステント留置治療を受けた患者さんは、血栓が出来やすい状態にあり、注意が必要です。

クロピドグレル錠「SANIK」は、血液の中の血小板が血栓（血のかたまり）を作りにくくして、血管が詰まるのを防ぐ作用があり、脳梗塞の再発や、心筋梗塞、足の血流が悪くなるのを防ぐお薬です。

\*：主に足の血管が狭くなり、血液の流れが悪くなる病気



脳梗塞は再発しやすく、1年間で約10%、5年間で約30%、10年間では約50%の人が再発する可能性があります<sup>1)</sup>。また、脳梗塞は再発を重ねるたびに症状が重くなる特徴があります。そのため、再発予防が極めて大切です。

脳梗塞を再発する割合

1年間で

約 **10** 人 / 100人

抗血小板薬を服用した場合

1年間で

約 **2** 人 / 100人<sup>2)</sup>

1) Hata J, et al. J Neurol Neurosurg Psychiatry 2005; 76: 368-372.

2) Uchiyama S, et al. Cerebrovasc Dis 2012; 34: 229-239.

## このお薬の服用方法

医師・薬剤師に指示されたお薬の量を、  
**1日1回**服用してください。



クロピドグレル錠25mg「SANIK」



クロピドグレル錠75mg「SANIK」

(実物大)

### ！ 服用を始める前の注意

下記に該当する場合は、服用を始める前に医師または薬剤師に相談してください。

- 以前にお薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- 現在、出血がある。
- 歯の治療、手術や内視鏡検査を予定している。
- 現在、妊娠中または妊娠している可能性がある。または、授乳中である。
- 他にもお薬を使っている。

心臓の病気（虚血性心疾患）でステント留置治療を受けた方へ

クロピドグレルとアスピリンというお薬の併用療法を行うことがあります。必ずステントとお薬に関する説明を医師から受けてください。

# このお薬の服用上の注意点「毎日確実に飲み続けてください。」

このお薬は、病気の再発を防ぐため、指示通りに飲み続けることが重要です。

## 飲み忘れを防ぐために



飲み忘れを防ぐため、毎日飲む時刻を決めておくとよいでしょう。



お薬を飲んだら記録し、目につきやすい場所に貼っておくとよいでしょう。



お薬を飲み忘れていないか、ご家族も確認しましょう。

症状が良くなったように感じて、自己判断でお薬を中止せず、医師の指示どおり服薬を続けましょう。自己判断でお薬を飲むのをやめたり、お薬の量を減らすと、脳梗塞、心筋梗塞などの病気が再発することがあります。

## 飲み忘れてしまった場合は・・・

飲み忘れに気づいたら、すぐに飲んでください。ただし、空腹時はなるべく避けてください。次の服用時刻が近い場合には、1回とばして、翌日から毎日1回必ず服用してください。



## 多く飲んでしまった場合は・・・

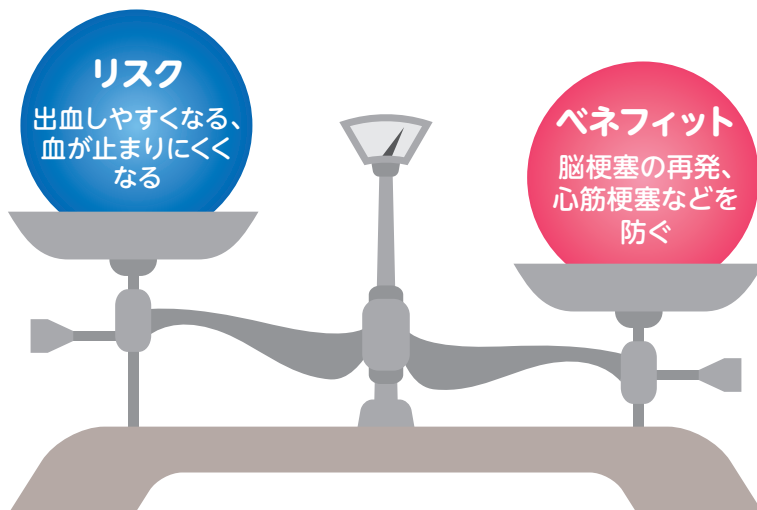
誤って多く飲んだ場合は、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

誤って他の人が服用することがないように厳重に保管してください。処方されたお薬が余った場合は、医師または薬剤師にご連絡ください。

## 抗血小板薬を飲むと、 血が止まりにくくなることがあります

抗血小板薬を続けて飲むことで、血栓ができて血管が詰まるのを防ぎ、脳梗塞や心筋梗塞などの病気の再発を防ぐことが期待できます。その反面、血が固まりにくくなるため、出血しやすくなったり、血がなかなか止まらないことがあります。これらのリスクとベネフィットを比べて、抗血小板薬を服用することの方が良い点が多いと考えられ、お薬が処方されています。そのため、医師の指示に従って、確実にお薬を続けることが大切です。

### 抗血小板薬のリスクとベネフィット



脳梗塞、心筋梗塞は生命に影響します。日常の注意点を理解し、医師の指示に従ってお薬を飲んでください。

## このお薬の服用に伴う主な出血

このお薬を服用すると出血が起こりやすくなります。

### 主な出血



鼻血



歯ぐきからの出血



皮下出血(あおあざ)



消化管からの出血  
(便の色が黒っぽくなる)

これらの症状に気がつきましたら、お薬が原因かご自身で判断せず、医師に相談してください。ご自身の判断でこのお薬の服用をやめたり、飲む回数を減らしたりしないでください。

## 家庭でできる止血法

### けがなどで出血したとき

グッと押さえて  
10分間



出血している箇所をタオルなどで力を入れて10分間押さえる

### 鼻血のとき

つまんで  
5分間



うつむいて鼻を5分間つまむ

！ これらの止血法を行っても血が止まらないときは、医師にご相談ください。

このような症状に気がいたら、  
すぐに医師または薬剤師に相談してください

- ひどい頭痛がする
- 気分が悪い、嘔吐した
- うとうとする、意識がもうろうとする
- 便が黒っぽい・血が混じる
- 鼻・歯ぐきから出血した
- 皮膚にあざ・斑点ができた
- 皮膚にぶつぶつができた
- 尿が茶色っぽい
- 皮膚・白眼が黄色い
- 強い疲労感、食欲がない
- かぜのような症状がある（発熱、寒気、のどが痛む）



上記のほか、普段と異なる症状に気づいたら、医師または薬剤師にお伝えください。

## 普段の生活で注意してほしいこと

血が止まりにくくなることがあるので、出血しないよう、下記のような点に注意してください。



ヒゲ剃りは電気カミソリで



歯ブラシは柔らかめのものを



転倒に注意しましょう



鼻をかむときは、  
力まず、やさしく



けがの恐れがある  
仕事や運動は  
なるべく避けましょう

## その他、気をつけてほしいこと

### 飲み始めにあたって

特に、飲みはじめてから2ヵ月ほどの間は、まれに肝障害や血液障害などの副作用が出ることがあります。定期的に医師の診察を受けてください。

### 治療を受けるとき

次のようなときには、必ず抗血小板薬を処方した医師に相談してください。



歯の治療を受ける時



外科手術を受ける時



内視鏡検査を受ける時

他の診療科や病院・診療所を受診する時には、医師に抗血小板薬を服用していることを必ず伝えてください。  
もし、その医師から抗血小板薬の服用を中止するよう指示が出た時には、抗血小板薬を処方した医師に相談してください。